

横浜市住生活マスタープラン（横浜市住生活基本計画）を改定しました

1 プランの概要

- ◇ 横浜市住生活マスタープラン(横浜市住生活基本計画)は、今後10年間の横浜市の住まいや住環境について目指すべき基本的な方向性を示すプランです。今後、本プランに基づき、横浜市の住宅政策を推進していきます。
- ◇ 「地域」「企業」「大学・専門家・NPO・中間支援組織」「行政・公的機関」など多様な主体がこの方向性を共有し、横浜らしい豊かな住生活の基盤となる住まいや住環境づくりを連携して進めていくことを目指します。



2 プランの期間

2022(令和4)年度から 2031(令和13)年度までの10年間

- ・プランの本編・概要版は、横浜市ウェブサイトにて公開しています。
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/jutaku/shiryo/keikaku/housdata.html>
- ・概要版は各区役所広報相談係にて配架しております。
また、本編冊子は、横浜建築局住宅政策課(横浜市庁舎24階)、横浜市市民情報センター(横浜市庁舎3階)にて閲覧できます。



横浜市ウェブサイト
「住宅政策に関する計画」

3 プランの「目指すべき将来像」(プラン本編 P17-19)

一人ひとりのライフスタイルに応じた豊かな暮らし方を選択できるまち よこはま
～横浜らしい多様な“地域特性”と多彩な“市民力”を生かして～

概要版に、市民一人ひとりが望む暮らし方が実現できる、将来像のイメージを描いています。

4 将来像の実現に向けた「3つの視点」「7つの目標」「4つの基本姿勢」(プラン本編 P20-23)

3つの視点		7つの目標	4つの基本姿勢			
社会環境の 変化	目標 1	新たなライフスタイルに対応し、多様なまちの魅力を生かした豊かな住宅地の形成	① ス ト ック の 活 用	② 多 分 野 の 連 携	③ 地 域 経 済 の 活 性 化	④ D の 推 進
	目標 2	災害に強く、安全な住まい・住宅地の形成と被災者の住まいの確保				
居住者・ コミュニティ	目標 3	多様な世帯が健康で安心して暮らせる住まい・コミュニティの形成				
	目標 4	住宅・福祉施策が一体となった重層的な住宅セーフティネットの充実				
住宅 ストック	目標 5	脱炭素社会の実現に向けた良質な住宅ストックの形成				
	目標 6	マンションの管理適正化・再生円滑化の推進				
	目標 7	総合的な空家等対策の推進				

お問合せ先

建築局住宅政策課長

松本 光司 Tel 045-671-2917

横浜市住生活 マスタープラン

横浜市住生活基本計画〈概要版〉

2022-2031

一人ひとりのライフスタイルに応じた豊かな暮らし方を選択できるまち よこはま

～横浜らしい多様な“地域特性”と多彩な“市民力”を生かして～

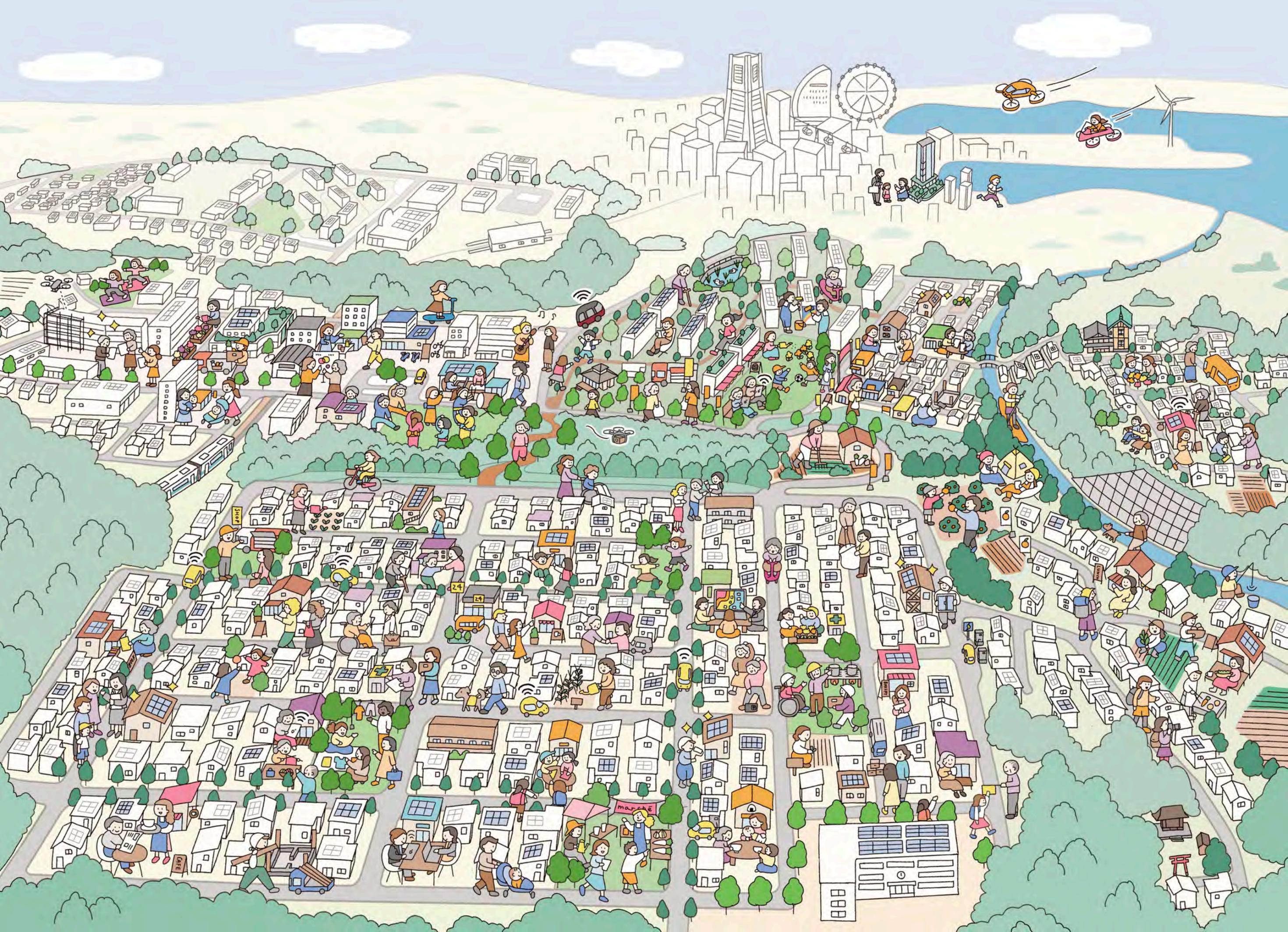
横浜市住生活マスタープラン(横浜市住生活基本計画)は、今後10年間の横浜市の住まいや住環境について目指すべき基本的な方向性を示す計画です。「地域」「企業」「大学・専門家・NPO・中間支援組織」「行政・公的機関」など多様な主体がこの方向性を共有し、横浜らしい豊かな住生活の基盤となる住まいや住環境づくりを連携して進めていくことを目指します。



2022(令和4)年10月発行

編集・発行 横浜市建築局住宅部住宅政策課

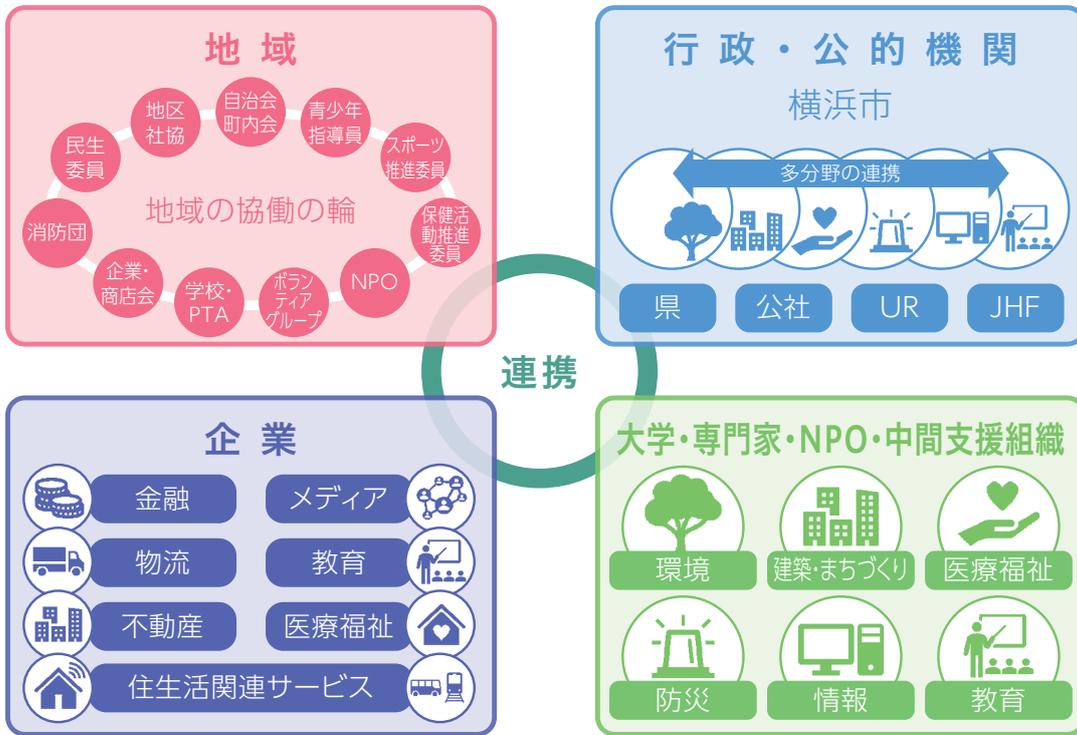
〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10 TEL: 045-671-2922 FAX: 045-641-2756



多様な主体による連携

目指すべき将来像である「一人ひとりのライフスタイルに応じた豊かな暮らし方を選択できるまち よこはま」の実現に向けて、「地域」、「企業」、「大学・専門家・NPO・中間支援組織」、「行政・公的機関」などの多様な主体が連携を図りながら、それぞれが施策の担い手として主体的な役割を果たし、施策を推進します。

◆ 計画の推進に向けた連携体制イメージ ◆



column 省エネ性能のより高い住宅

◎ WHO* (世界保健機関)では2018(平成30)年に発行した、「住まいと健康に関するガイドライン」により、寒さによる健康影響から居住者を守るための冬季室温として「18℃以上」を強く勧告しています。

*: 国際連合の専門機関の一つであり、人間の健康を基本的人権の一つと捉え、その達成を目的として設立された機関。

◎ 一方、国では「住宅の品質確保の促進等に関する法律」に基づく「住宅性能表示制度」を見直し、断熱等性能等級についてZEH水準の「等級5」を創設しました。さらに、2022(令和4)年には一戸建ての住宅について「等級6」、「等級7」を創設しました。

◎ この最高レベルの断熱性能や気密性能を備えたZEH等の「省エネ性能のより高い住宅」はWHOが強く勧告する「18℃以上」により近づけることができる住宅となります。



断熱等級	戸建住宅の窓仕様の例	冬季室温
等級7	ダブルLow-E三層複層ガラス(G9) 樹脂製サッシ	15℃
等級6	Low-E複層ガラス(G12) 樹脂製サッシ	13℃
等級5	Low-E複層ガラス(A10) アルミ樹脂複合サッシ	10℃

資料：2021(令和3)年11月24日社会資本整備審議会建築分科会建築環境部会建築物エネルギー消費性能基準等小委員会参考資料



空飛ぶタクシー

空飛ぶバイク

都心居住

丘陵の住宅地

調査ドローン

マンションの
大規模修繕

管理組合活動

屋上・壁面緑化

花壇活動

スーパー

マンションの
子育てスペース

駅

チャレンジ
ショップ

地域
ケアプラザ

パーソナル
モビリティ

パーク&ライド
ステーション

健康体操

お祭り

シェア
モビリティ

路上ライブ

木造の集会所

ビオトープ

屋上緑化

団地1階の商店街

パーソナル
モビリティ

狭あい道路の拡幅

不燃化建替

防災広場

DIY

地域による
空家の見守り

集会所での
話し合い

歴史的な洋館

花壇活動

コミュニティ
バス

空家活用の
コミュニティ
カフェ

富士山への眺望

建替え

農産物直売所

宅配
ドローン

住宅確保要配慮者を
拒まない
民間賃貸住宅

断熱性の高い
賃貸住宅

空地
ガーデン

移動販売

地域の
見守り拠点

子どもの
居場所

崖地の防災対策

菜園

果樹園

住み開きの
ショップ

住み開きの
ショップ

シェアハウス

コンビニ

コミュニティ
カフェ

防災
シミュレーション

美化活動

耐震・省エネ改修

EV充電

体験農園

農家レストラン

物件探し
ファミリー

創エネ

高齢者の
IT活用

訪問診療

防災倉庫

防災用品点検

訪問介護

マイクロ
モビリティ

空地で
健康体操

花壇活動

防災倉庫

空家活用の
店舗

EV充電

体験農園

農家レストラン

空家活用の
高齢者の居場所

フリー
マーケット

木造の共同住宅

空家活用の
子どもの居場所

リノベーション

空地活用
菜園

空家活用の
高齢者の居場所

里山散策

空家活用の
コミュニティ
カフェ

建替え

空家活用の
コワーキング
スペース

青空マルシェ

ZEH

V2H

空家活用の
子ども食堂

若年転入
世帯

通学見守り
ボランティア

神社

産地直送